

今日は、今名刺を渡しましたが私部落解放同盟という団体の本部の副委員長の片岡と言  
います。

佐賀県連の書記長をしています小宮です。どうぞよろしくお願いします。

佐賀県連委員長の瀨本です。

中央本部執行委員の吉岡です。福岡の解放同盟の書記長をしています。

(片岡氏)

じゃあ早速話し合いを入るということでもいいですか。私達の団体のことはあまり知ら  
ないと思うんですけども、部落解放同盟という団体が同和地区の住民が差別を無くす  
ために作っている団体です。それで今回メルカリを通じて全国部落調査が販売されたと  
いうことで非常に我々としては驚いたんですけども、それに関連していくつか聴きた  
いんですが。

先に断っておきたいんですが、県を通じて要望がありましたから個人の名前とか住所  
を出すようなことはしません。それは約束します。それから損害賠償請求をするとか、裁  
判にかけるといことも考えておりません。だから正直に言ってもらいたいということ  
です。いいですか。

(本人)

(片岡氏)

メルカリを通じて全国部落調査を販売したということなんですが、メルカリは前から  
利用してたんですか。

(本人)

(片岡氏)

その頃というと。

(本人)

(片岡氏)

その本はね、メルカリそのものを利用するってゆうのはその前から。

(本人)

(片岡氏)

ああそうなの。

(本人)

(片岡氏)

ネットを見ると [ ] さんは4回くらい既に取引があると書いてあるんで。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

売ったことはないですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

作ったのは何年前前に作ったってやっぱりネットに書いてあるんだけども、いつ頃作ったんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

何年前なんですか、今何歳なんですか。

(片岡氏)

2年か3年前ですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

[REDACTED]の 때가最初ですか、作ったのは。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それはインターネットを見て面白そうだと思ってそれで作ったんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

あれは最初にインターネットに本の元のデータ全国部落調査がね、出たのは2016年の3月なんですよね、だからその前っていうことはないんだけども、ということとは3年前ってことだから、たぶん最初に出た頃に見たということになるわけだよね。はっきりした何月とかということとは覚えてない。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

何でこう見てたんですか、何か関心があったのですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それで同和問題とか部落問題って聞いたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

どういう問題だろうと思ってそれでネットで検索した訳ですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

どういう検索をかけたんですか、同和問題とか部落とかそういう検索ですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

そしたらそれであれが出てきた。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

で面白いなという風に思って。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

覚えている限りでいいんだけどもどどういう興味だったんですかね、例えばどこが同和地区か見てみたいとかってというような興味なんです。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

まあ同和問題で検索かけて本が出てきたんでどういう内容かと思って興味を引かれたんでそれでかけてみた。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ずっと全国の情報が出てますよね、見ればそこが同和地区の住所になっている訳だから、そういうものを見た。その時に本を作ろうと思ったんですか、作ったのはいつですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

見てすぐではないけれども何週間から何か月かおいて、たしかいちばん最初はオンデマ  
ン印刷もできますからどうぞと言う風書いてあったんだよね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それ見てじゃ本を作ってみようかと思って作った、売るということを考えたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それじゃあ、作ったのは1冊だけ。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

1冊じゃなくて、金かかるよ。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

いくらであれしたの。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

3冊、1冊が千円。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

1冊が千円で3冊、興味があるだけだったら3冊もいらんんじゃないですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

売るということで3冊作った訳ではない訳。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

1冊千円で3千円くらいお金かったというわけですよね、その時はメルカリに手数料を払うわけだね、メルカリに対して。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

売る時、あそうかそれは俺が勘違い、それは後の話、それでじゃあその本は作って持っていたわけよね、自分で。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それで気になるのは、どこが同和地区かどうか自分で調べたいということで開けてみて、佐賀県内の同和地区はどこだとかって、たぶん見たと思うんだけども、一応は見たでしょう。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

県内どの辺に同和地区があるっていうのは分かるわけだね、どう思いましたそれで、初めて知った。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

その後本を売ったのはそれからだいぶ経ってからだね、2年ぐらい経ってから、去年の暮ですか今年になってからですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

今年になってから売った、何で売る気になったんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

捨てるんだったらば売った方がいいと思って、だけど5冊作ったって聞いているんだけども、そうすると、その後もう1回印刷していることになるよね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それはいつ頃印刷したんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

1冊が売れた。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

今年になって1冊売れた、[REDACTED]の時に作ったやつが。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

3冊売れた、これは売れると思ってさらに追加で2冊作った。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

値段は3千5百円付けてたと思うんだけど結局いくらで売れたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

そのまま3千5百円で3冊とも。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

あとはいくらくらいで。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

最初3千5百円で売ってて。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

思い出してくださいよ、1冊目はいくら。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

1冊目は5千円で売れた、2冊目は3千5百円で出したんですか、3冊目も同じ3千5百円ですか、もっと安くしたんですか。

(本人)

(片岡氏)

じゃ4千円くらいで。

(本人)

(片岡氏)

5千円が最初で次のやつも。

(本人)

(片岡氏)

5千円で売って3千5百円もう一回3冊目は5千円で売ったと、1冊目売れたんでこれは金になるかもしれないと思って追加で2冊したわけか。

(本人)

(片岡氏)

高校の時代に作ってそのままずっと自分の家に保存してたていうか本棚がなんかに置いて、要らなくなったというのは、売る気になったきっかけは何だったんでしょうか、まあこれ売らなければ誰もわからなかったんだけど。

(本人)

(片岡氏)

金が欲しかったとかっていうことですか、正直に言ってください。

(本人)

(片岡氏)

どっか外に出るから整理をすることではないですか。

(本人)

(片岡氏)

単純に部屋の片づけで要らないと思った。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

売ったのはその時が初めて。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

買うことはあった。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

個人のあれだけでも、どんなものを買ってたんですか、本とか洋服とかそういうものですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

そういう雑貨ということですか、あれに出てるんだと4回位の取引でいうのは買ったということ。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

細かく聞いてるけども、1つ心配があって来たんだけども今回は3冊売ったっていうのも、もしかしたらもっと前から売ってたんじゃないかって、それで皆心配してるんだけど、売られては困るんでそれで聞いてるんだけど、それはいいですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

あくまでも5冊で3冊売ただけでそれ以外はないですね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ずっといつきに聞いたんだけど、何かありますか、ありましたら。

(小宮氏)

知りたいのは3冊売れたから2冊作ったというところで、売れてしまって作ったんですか、もう1冊目が売れた時点で注文かけたとか。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

じゃあ1月の20日過ぎぐらいに3冊目が1月末でしたよね。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

オンデマンド印刷業者とかは名称は分かるんですか。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

開いたらそっちのオンデマンド印刷業者に飛ぶような形。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

後から分かれば県の方にでも伝えてもらいたいなど。

(片岡氏)

俺はそういうのやったことがないからわかんないんだけど、オンデマンドというのはデータを送れば全部向こうで製本にして、それで本になってストレートに送ってくるわけですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

料金は前払いなんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ネットで全部処理している訳ですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

料金の支払いも。

(父)

[REDACTED]

(本人)

[REDACTED]

(父)

[REDACTED]  
(本人)

[REDACTED]  
(?)

プリペイドカード支払い。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

続けて聞きますけども、鳥取ループのサイトを見て全国部落調査が出てきたということ  
なんだけども、鳥取ループ関係のネットのサイトっていうのは、[REDACTED]の時に学校の授業  
で同和問題とか出てきたんで検索したということですよ、話としては、その後時々開いて  
見るようなことはやってたんですか、鳥取ループのそのサイトに。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

見てはない。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

見たときにいろいろ全国部落調査だけでなくいろんな情報が入っているけれども、  
それなりについでに見ていると思うんだけど、どういふふうに思いましたか。酷いこと  
が書いてあるんだけどね。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

同和地区に入ってどこが同和地区だとかって、それでその写真とか動画も入れたりして  
いるんだ、彼らは、してるんだけど、それはあまり見てないですか。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

ついでに見たっていうことはないですか。

(本人)  
[REDACTED]

(片岡氏)

でも、さっき最初同和問題は学校の授業で出てきて興味があったので検索したという話  
だから、見ても別に悪くはないんだけど。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

他は見えない。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

見てだめっていう風に言ってるわけじゃないから。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

見たんではないかと思うんだけど、もし見てたらどんな印象だったのかな。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

いっぱい住所が出てきて、どこが同和地区だと一覧表になっているのを見た時に、どういうふうに思いましたか、こんなにいっぱいあるのかと思った。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

自分の住んでいるところの周辺も気になって見るよね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それは出てるんだから、見ちゃ違反だとは言わないけれども、当然見てると思う、見たときにどんな感想がありましたか、今まで知らなかったわけだよ、その同和問題だとか同和地区について、同じ市内でそういう地域があるということをその時初めて知ったわけですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

そうですね、前から知ってた訳ではない。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

初めてネットで調べてみてこういう地域があるんだということを知ったわけですね、改

めて聞くんですがどんな印象というか、感じて受け止めました、それを見たとき。

(本人)

(片岡氏)

近くにあるというのは驚いたけどもそれ以上ではない、これは大学で調査をやっている人がいて、インターネットに出ているのを〇〇見て印象を持つという〇〇、中には面白いから近くにあるところを見に行ったという人も結構いる、そういうことはしていない。

(本人)

(片岡氏)

もう一つ本の関係で言うと、中にメルカリを使ってやってんだけども、メルカリからは今回の件で何度か連絡が来ていると思うんだけども、それは電話出来てるんですかネットで来てるんですか。

(本人)

(片岡氏)

メールで来てる、直接会って話をされたっていうことはないですか。

(本人)

(片岡氏)

で、うちの方が、弁護士が、開示請求かけてるという、そういう連絡が来たわけ、メールで、びっくりしたでしょう。

(本人)

(片岡氏)

それでメールでメルカリに返事をしたわけね。

(本人)

(片岡氏)

それでメルカリは名前を開示してくれと言われているけどもどうしますかという、そういう相談のメールだったわけ。

(本人)

(片岡氏)

同意しますか、その開示することについて。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それはちょっと法律的になるんだけど、厳密に言うとなんか法的には同意があってもなくても弁護士の開示請求ができるんだよね、メルカリはだからお客さんの情報はあんまり出たくないから、本人同意が必要だ、と言ってるんだけど、それはまた別の話で、何度かやり取りしたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

出してもらいたくないと言ったらば、メルカリは何と言ってきたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

どうしたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

連絡あったんですか。

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

その名前は困るというふうに返事をした。

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

今の話だと親を教えちゃってという話で、改めてお父さんのところにメルカリからメールが電話がきたんですか。

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

電話ですか。

(父親)

[Redacted]

(片岡氏)

話は今みたいに開示請求が来ているけれどもどうしますかということですか。

(父親)

[Redacted]

(片岡氏)

それは向こうとしては何が話したかったのですか。

(父親)

[Redacted]

(片岡氏)

県の方は一緒に行ったんですか。

(父親)

[Redacted]

(片岡氏)

息子さんだけの県の方に行ったのは。

(父親)

[Redacted]

(松藤)

そうですね電話と一度ご本人さんにもお会いほさせていただけいたんですけど。

(父親)

[Redacted]

(片岡氏)

うん新聞にも出ました。

(父親)

[Redacted]

(本人)

[Redacted]

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

話は次の話になるんだけども県の方に連絡して実は自分が作ったんだというのは新聞を見てですか、新聞じゃなくてネットかなんかですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ネットの記事見て、これは、ああこれ自分が売ったやつだと思った、びっくりした、まさかそういう風になっているとは思わなかった、それで県にすぐ連絡したんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

県の人と電話でやり取りして実は自分が売りましたということなんだけど、黙っていてももしかしたら分からないんだけど、分からないかもしれないけれども、何で自分から連絡を入れたのかなというふうに思ってるんだよ、何で電話したんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

なんか非常に心配があるというか、そういう団体から攻撃されんじゃないかということ、〇〇そういう心配があった。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ただ [REDACTED] の話に戻るけども、最初にネットを見たときに、これが裁判をやって販売が止められてるっていうことは、ネットに鳥取ループが出しているから、それは知っているよね、普通に言えば禁止されているもんだと、覚せい剤とか危険ドラッグみたいなそういう性格のもので、これは出してはまずいということは分かったでしょう、分からなかった。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

考えなかった、どっかでそれを書いている自分自身が、販売の時に書いてあるから、これは販売してはいけないもんだということ、あなたも書いてあるから、それは分かってたと思うんだけどそれは勿論知ってるよね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

それを見れば、本にしてとかっていう風には、普通あまり考えないと思うんだけども、あえて本にしたっていうのは良くないことだし、何でかなっていう風に我々は思った訳ですよ、それでメルカリの関係では直接メルカリの人と会って話をするとかっていうことではないわけですね、あくまでもメールだけのやり取り、お父さんの方は電話のやり取りをしたということ。

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

それは弁護士の方の23条と言うんですけども、弁護士から請求が出てますというような説明だったんですね。

(父親)

[REDACTED]

(片岡氏)

それはね説明をしときます、一番最初にこの問題が起きたときに、我々自身は裁判でも止めてるやつだから、それが売られている訳だから、それじゃ裁判やっている意味も何も無くなっちゃう、それは大変困るということで、それでいったい誰が作って販売したんだ、誰が買ったのか、そういうことをされては困るということでメルカリに対して弁護士が開示請求をしたんです、そしたら本人がいやだと言っているから名前は教えられないと来たんだけど、改めてもう一回弁護士が請求をするという風にメルカリに連絡を入れたらば、メルカリも弁護士が勿論いますから、向こうの弁護士が弁護士法23条というのがあるんですが、それは弁護士会を通じて請求をしてくれれば、それは法律上出さなきゃならないことになっているので出します、という風にメルカリが説明をこちら側に返事をして来たんです、これは法律の話なので私も専門家じゃないから分からないんだけど、だから名前とか住所は結果的にそういうやりとりがあるからメルカリが返事するかもしれませんが、そのことを踏まえて、最初言ったみたいに、だからと言って我々は絶対名前は出すことはしませんからそれは約束しときます、それで話を戻しますが、もう一つだけ、データはどうしたんですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

うん。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

だからそのデータは消してるの。

(本人)

[REDACTED]

(父)

[REDACTED]

(小宮氏)

URL をコピーしてそっちのオンデマンド印刷業者の注文サイトの所でこれをしてくださいということで張り付けて依頼したからパソコンには保存してないということ。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

印刷したとかいう或いは使わせてもらいましたということをお取ループに言ってるの、言っていないの。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

何も言っていない、今回の問題についてはお取ループとは全く接触はないですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

全くない。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

まあ絶対に関わらないでもらいたいです、本当に酷い人物、裁判5回やってんだけど、5回とも負けて今回の全国部落調査についても、東京法務局が本人を呼び出してこういうふうなデータをインターネットに出すことは差別の助長になる人権侵害になるからやめなさいという文書を本人に出して説教ちゅうんですけども、それであなたのやっていることは差別になるから止めなさいという風に言われて止めない、裁判所が我々はまあ〇〇申し立てましたから、裁判所から本はダメ、それからインターネットも削除しなさいという仮処分決定を出して、それから損害賠償請求についても彼が住んでるマンションも差し押さえになっているんだけど、それでも彼はやめようとしなくて、確信犯ですね、ですからこういう図書にして売ったっていうようなことが彼が知ると彼は大喜びするでしょう、またそれをネットに出すよ、そうすると彼のことだから、あなたの個人的なプライバシー何も関係

なしに、佐賀県の誰がこういう行動を取ったバンザイってネットに出しますよ、だから絶対に彼とは接触を持たないでもらいたい、いいことなんか絶対ないと思う、さらされることになるよ、彼はそういうことをやる人間だから、それで今我々は困ってるんだけど、じゃあ鳥取ループとは接触してないよね。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

ここで一回切りたいですか何かありますか、委員長。

(濱本氏)

ちょっとまだ分からないのは、最初にインターネットで見て、そしてそれをオンデマンドで印刷してもらって、そして本にして、そしてそれを売った、そこまでの、そんなに興味がなかったけど結果的に売った、という形になっているから、その動機がね、なかなかもう一步はっきりしないですね、そこまで単純に言えばその本の内容が分かってね、分かって、そしてこれだったら普通だったら売れるんじゃないかなと思ってき、思っただけで、5冊製本してそして売ったというのが普通の感覚、そこら辺の、至るまでに最終的に至るまでの動機っていうのがあんまり分からない。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

本の形にして持っときたいというのは、中身を見てき、中身を見て、あ、この内容だったら自分が持ってもいいかなという形になるならわかるんだけど、その中身を検証しないで即その本にするというのはよく分からない。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

その中身を見たとき、ま、どこらへん、佐賀の欄を見た。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

ばあっと全体的に。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

その製本にして何ページくらいあった。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

200ページ。

(小宮氏)

一ついい。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

トータル5冊製本してるわけだよね。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

でこれ今の年代とか考えたら、例えばほら最初の出品しているときとか、これ最後の一冊ですとか、持ち歩いているから傷があるみたいなことが書いてあるのを見てただけど、ということはやっぱり友達とか知り合い友人に見せたりしてるよね。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

あ、見せてる。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

友達が作ったりとかしてないよね。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

あと、鳥取ループ示現舎というところなんだけど、そういったところのサイトかフォローとかは、別にしたりとかしていない、たまたま文字打って検索してヒットしたところを開いて見てる。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

いいですか、地元の委員長の言うように、[REDACTED]の時作ってそれを置いといて、改めて今年になって売ったんだよね。








(片岡氏)

別の先生から言った。

(父)

(小宮氏)

ところで習って、のだいたい6月くらいにネット上の人権侵害って高校では授業するみたいやけど、そんな時に6月かなんかの授業かなんかで先生が全国今話題になってるけど去年話題なったけど全国部落調査っていうのが出版されとる、要はこれは差別事件だよというような授業があったっていうことでいいのかな。

(本人)

(片岡氏)


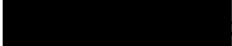
それを見た。

(本人)

(片岡氏)

そしたらまあ出てきた、うーん善し悪しだよ、ね、先生もそれ言うのは、熱心な先生は言うかもしれないけれども、ネットに出てると言えば見るよ、ね、生徒はね。

(小宮氏)

ちょうどのその時期だったら丁度出た直後ですね、かそれくらいに授業があつてと思います。

(片岡氏)

そんなに詳しく言ってるわけじゃないよね。

(本人)

(片岡氏)

その時の先生の雰囲気としては、そういう差別問題があつて、そういう差別はよくないとゆう大きな授業の流れの中での話だよ、それだけポツツト言ったわけじゃないよね。

(本人)

(片岡氏)

その頃のそういう話を聞いた印象としてはどういう印象だったんです、この同和問題とか部落問題ついて、さっき聞いたけど日本にそういう問題があるんだっていうことを初めて聞いたって話だよ、その頃の認識はどんな感じだったですか、イメージでもいいんですよ。

(本人)

(片岡氏)

想像できない。

(本人)

(片岡氏)

でもまあそういう地域があって差別されている人がいるということを認識としてはあった訳だよね。

(本人)

(片岡氏)

例えばもうちょい具体的に、それを言ったからなんだというわけじゃないんだけど、日頃我々も誤解されているから、同和地区とか被差別部落とか部落とかって、今日は我々解放同盟という団体で来ているんだけど、そういう地域とかそういう人についての印象っていうのはどんな印象でした、なかった、印象になること。

(本人)

(片岡氏)

うんうん。

(本人)

(片岡氏)

変わらないんじゃないかという風に思ってた。

(本人)

(片岡氏)

でもそれは先ほどの話と若干矛盾する、でもまだそんなものがあるのかということだから異常に興味があって、鳥取ループのあれをのぞいて見て、こういう地域が残っているってことを知ることになったというわけだよね。

(本人)

(片岡氏)

知った時は印象はどんな印象でした、ああこういう地域があるんかというふうに、知らない秘密を知ったみたいな印象でした。

(本人)

(片岡氏)

さっき私が言ったみたいに、面白いから見に行ってみようって見に行った人もいるんだけど、そういうことではなかった、そういうことはしていない。

(本人)

(片岡氏)

勿論地元の地域も出ているのを見たっていう話だから、身近にそういう地域があるのかというように思った、何かのぞいて見たいというとかっていうようなことはなかった。

(本人)

(片岡氏)

でも地元にあるところがそうだということは確認したよね。

(本人)

(片岡氏)

それから例えば近くを通ればこの辺がそうだというのは分かるでしょう、それはあるよね。

(本人)

(片岡氏)

別に誘導尋問したいわけじゃないんだけど、インターネットにこういう情報が出ていることは非常に悪い影響になっているんですよ、途中で言いかけたけども、大学生の調査をやると結構な大学生がインターネットを見て、自分の住んでる町や市のどこがそうかというのを知って驚く、今までは全然そういう風なことを考えてなかったけれども、じゃあこの辺がそうかということで違って見るような、そういう気持ちになったっていう、そういう大学生の調査があるわけですよ、だから我々としてはインターネットでそういう地名を出さないでもらいたいと、今まで何も持たなかった人がそういうデータを見ることによって、ちょっと敬遠したりするという風なかつこうになってるわけだから、それは困るという風に言っているわけなんです、知らなかった君の場合も同じように知って、少し見方が違ってきたんじゃないかという風な趣旨で聞いているわけです、それはないですか。

(本人)

(片岡氏)

さっきの話にもなるんだけど、県に連絡したわけだけれども、それは自分で判断したん

ですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

だれか相談したということはないですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

友達とか誰にも相談していない、ネットにニュースに流れてるんで、それで電話したという  
うことですか。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

県に電話したならば、もしかしたら自分が出していることをばれちゃうんじゃないかとい  
う心配はなかった、ばれて困るという心配もなかった。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

別に県に相談するっていうのはそれはいいんだよ、いいことなんだけど、新聞には別に  
県のどこが窓口でとかっていうことは書いてないけども。

(本人)

[REDACTED]

(父)

[REDACTED]

(片岡氏)

あーそうかそうか。

(父)

[REDACTED]

(片岡氏)

それがヒントになって県に連絡をした、県に人権・同和対策課というのがあることを知ら  
なかったでしょう。

(本人)

[REDACTED]

(片岡氏)

調べたわけでしょう。

(本人)

(片岡氏)

とりあえず県庁に電話して。

(本人)

(片岡氏)

直接電話した。

(本人)

(片岡氏)

どうしたらいいかということを知りたかった、もしかしたらばれるかもしれないけども、このまま持っていたら何か犯罪に問われるかもしれないと思った訳ですか。

(本人)

(片岡氏)

委員長の名前とか小宮書記長も名前も出てくるから、団体の人に攻撃されるかもしれないという風な不安はあった。

(本人)

(片岡氏)

私の方はそれまでですよね、委員長からありますか。

(瀧本氏)

住所とか名前とかさそういうものを我々に教えなくてもいいけども、県の方には言ってもらって、後で本当に部落問題を理解してもらうためにはさ、やはり何で差別がこの社会の中にあるのかっていうのをさ、県の教育委員会等と話をしてもらってさ、学習してもらう必要があるけんね、それと買った人、買った人がどういう意図で買ったのかちゅうのをさ、我々理解しないと、その人達と接触してこれを拡散しないようにしないといけないから、そういう意味ではその人がどこの人なのかというのを知りたいというのはある、そうしないとかのまま野放しにしとったらさ、どんどんどんどん拡散していってしまうから。

それから、我々に直接に言わなくてもいいけれども、県の方におそらく県の守秘義務があるから県が直接外に漏らすことはないと思う、そういう形はやってもらった方がいい、今後のためにもさ、いいと思う、そしてあなたたちがさ信頼関係がないとなかなか本当にその自分のね、気持ちを言うことはできんと思うけどもさ、そういう我々信頼関係を作っていくって

さ、そして、あ、これだめだからこういう問題が起こったら、例えばほかの人たちがこういうことをしようとしたらさ、止めてほしいという気があるのよね。

(小宮氏)

もう1点だけ、さっき [REDACTED] 授業で先生が部落調査のことを話したと言ったけど、それが、何月くらいやったかは覚えてない、1学期、2学期。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

インターネット上の問題の授業だったのか、その後の10月ぐらいとかのなんかちょっと部落差別とかの授業だったのか、どっちやろか、タイムリーやったけんが、て、言われたけんが、おい6月ぐらいのことかなとか思ったばってんが、覚えていないですか。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

1学期か2学期。

(本人)

[REDACTED]

(小宮氏)

だけど覚えてはいない。

(本人)

[REDACTED]

(濱本氏)

それとさっき片岡副委員長が言ったオンデマンドの会社、こどもたぶんオンデマンド印刷するときさ、内容を確認してから印刷をしようと思うちゃんね、だからそれをさ、本当にこれを印刷してもいいのかどうかというのをさ、会社自体は本当は検証してからさ、印刷するべきと思う、それからぜひ会社名をさ、思い出してもらってさ、県の方に連絡してもらえれば、県の方からそういう問題についてその会社がちゃんと人権意識を持つとんのかどうかちゅうのをさ、確認してもらう必要があっちゃんね。

(片岡氏)

ぜひ知っというてもらわないと困るのは、話の中でも言ったけれども、君が売った本が悪用されて被害がいっぱい出ているというように考えてください。

同じような本を1975年にも販売した人間がいるんですよ、この時は法務省が買ったところも全部調査して回収してるわけ、回収して焼却処分にしてる、分かっているだけでも220くらい買った、企業が一番多かった、大きな企業、大手の、それは何のために使ったかという、就職の時にその資料を使って身元踏査をして採用しなかったんだよ、その地域出身の人は、何人くらい不採用になったかというそれは分からないけども、企業の中に

は正直に申し訳なかったと、今までこの図書を使って不採用にしたケースは私自身も承知して、と言う人が二人もいたから、間違いなくそういう用途に使った、勿論そのために作った本だから、だから数は勘定できないけども、歴史的に相当の人があの本で不採用になったということが1つですよね。

我々にすれば、せつかく高校大学行って試験も合格しているのに採用されないというのは、やっぱりこれは不当だということになるじゃない、そういう風に使われてきた本な訳です、それをもう1回ここで出版したということになる。

それからもう1つは、その本を使って結婚の時の身元調査に使われているというのは結構ある訳、自分の婚約している相手がそういう地域の人かどうかを調べるといことで、調べて出身だった場合に反対して結婚させないとか、或いは本人自身がそういうところでは困ることで止める、というケースも相当にある、そういう風な実害がある訳、だからそういう被害がいっぱい出る可能性がある本だと考えてください。

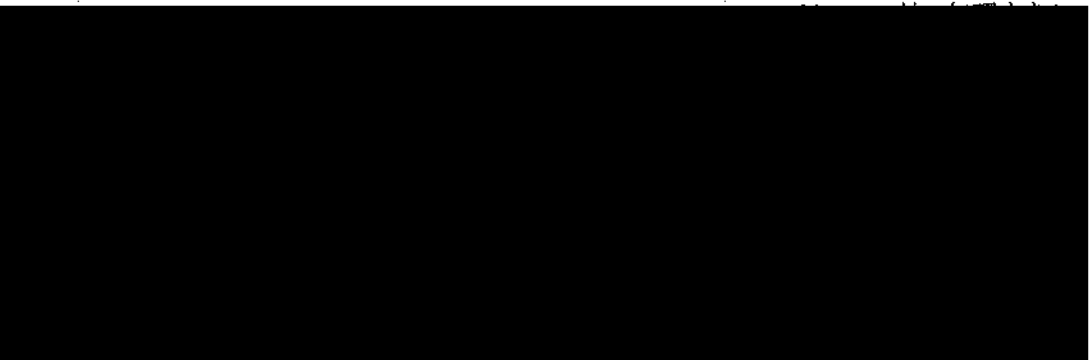
インターネットに出ていること自体がそういう問題を起こす、だから国は、もっと分かりやすく言えば、3年前に法律を作ったんだけど、部落差別解消推進法という名前の法律だけど、法律を作った一番の目的はこういうインターネットで誰がそうだとかが同和地帯と出ていることが背景にあって、これはなんとかしなければならぬということなので法律ができてる訳。

それからさっき言ったように、鳥取ループは法務局に呼び出されて止めなさいと言ってもやめていない訳だけれども、法務省は去年の12月に改めて通知を出してる訳、インターネットに同和地区の所在地を出すのは差別の助長になってこれは違法だ、という文書を出している訳、全国の地方の法務局に、だから二重三重にこれは禁止されていると考えてもらわないと、法律ができてだめですよ、鳥取ループ本人を呼んで止めなさいと言われてる、改めてさらに通知が出ている訳、でも止めよとしない、その本を君が作って販売したということだからそれは新聞に出るとい性格のことになっている訳だから。

まあ大事件と言えば大事件だと思う、新聞社もね。だからそういう本を出してしまったということの反省はちゃんとしてもらいたい、我々とすれば、ただ未成年で、言ってきたからね、自分でね、それは我々としても評価してこういう話し合いをしているから、最初言っただけに、名前を出したりそういうことはしない、それは約束する、損害賠償請にかけるといようなこともしない、けどもこうした問題の重要性ということについては、よくよくこれは理解してもらいたいということなんです。

それで全然同和問題については詳しいことは知らなかったということだから、我々当事者から話したんではあれなんで、後はぜひ県の人にもう任せますから、もし自分が勉強したいんだったら県の人に教えてもらおうとか、資料を紹介してもらおうとかで勉強してもらいたい、どんな問題だったのかということも分かってもらわないと、なんかある時変なオヤジ連中に呼び出されて文句言われたということだけでは困るんで、そのことの重要性を知ってもらいたいと。

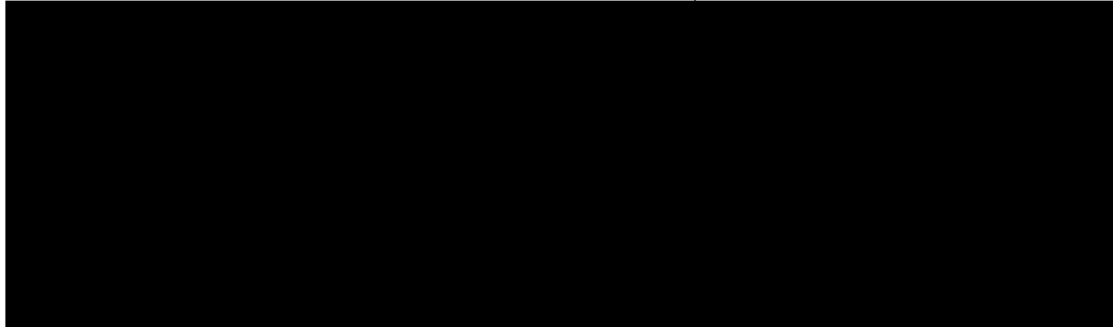
強いて言えば、裁判やっている話したけども248人原告になって裁判やってんですよ、一人一人全員が陳述書を出したんですよ、裁判所に、今やっている裁判でね、自分自身の体験、こういう本を出されたら困るということを書いて出してんだけど、高齢の方もいるし30代の方もいるけれども、ほぼ全員が身内か本人か家族の中で差別の経験をしたということを皆書いている、裁判長あての陳述書だから証拠になるから嘘は書けない、皆自分自身の体験を書いている、書いてるけども、248人のうちで、これは許せないという風の問題を表に出して訴えていたのは、私が見た限りでは2件だけ、あとは全部我慢している、自分の身内で酷い差別があったけれども、それは訴え出ていない、何でかっつうたら訴え出るともう一回、二次被害、差別されることになってしまう訳で、私はこんな差別を受けました、止めてください、ということはやっぱり勇気がいることだ、自分が出身だということを言わなきゃならない、周りからあの人はそうかということでもた見られる、女性がほらレイプで中々自分が訴えられないちゅうことは、ある種同じだよ、ほとんどの人は黙って我慢している、私はその代表みたいな形で裁判やっているんだけど、よう我慢しているなど思うような案件ばかりで、古い話じゃなくて、



そういう声、現在今、進行形の話で、家族とこれ以上もう揉めたくないんで、そっとしてもらいたいということなんで、それはあれしてないけども、そういうような事例があるんだよ。

中々それは分からないかもしれないけど、本当にそういう人がいるから、我々はそう考えると、こういう図書が出るとそういう犠牲になる人が増えるから、それでやめてくれと言っただけなの。そこは是非分かってもらいたいというように思います、皆さんの方から何か。

(吉岡氏)



(濱本氏)

今吉岡書記長が言ったように、これまではね、興味本位かなんかでそういう本を売って、いわゆる我々側から言うと加害者の側、是非これをね、被害者の側に立って、これを無くすような意思を持って無くすような運動にね、参画をしてもらいたい。

いわゆる周りの人にもそういう人がもしもいたら、それを止めるような人になってもらいたい。それが一番なんです、我々も運動として、一人の力ではだめだから、みんなの力でやっぱりこれを無くしていこう、というような運動をやっていますので、何かあって相談があればですね、名刺に電話を書きましたので、なんかあれば相談にのりますよ、だからぜひゆっくりこれから、自分がやったこと、そしてこれから自分がどうするべきかは是非考えてほしいと思います。

(小宮氏)

私から一つ言うとしたら、お父さんに伝えておきたいことが、同じ子を持つ親として、お父さんもいっしょに悩んでから子供さんのバックアップにもあたってほしいな、というふうに思います。

やっぱり子供が起こしたことももしれんけど、やはりお子さんも一人でたぶん不安なところいっぱいあると思うし、今日のいろんな話聞いてこれから先に向かってどんどん進んでいってくれるって信じとっけんがですね、やっぱり親の支えがあれば子供もしっかりとした道に行くと思うんです、これからどんな道にね、目標にいかすかわからんけど、その夢に向かってしっかり進めらすごでね、応援していただいて、勿論その中で、生きてい

く中で人権ていうところは避けて通れないところやっけん、しっかり差別をする側、差別を助長する側ではなく、差別をなくす側の人間にですね、なって行ってほしいなって思うんで、私からそんな所を期待するということだけお伝えしときます。

(片岡氏)

じゃあこれで終わりますが、何か最後言うことがあれば。特にない。

別に謝れとは言わないけれども、やっぱり今日話を聞いて少し自分がやったことが問題だということは分かったよね。

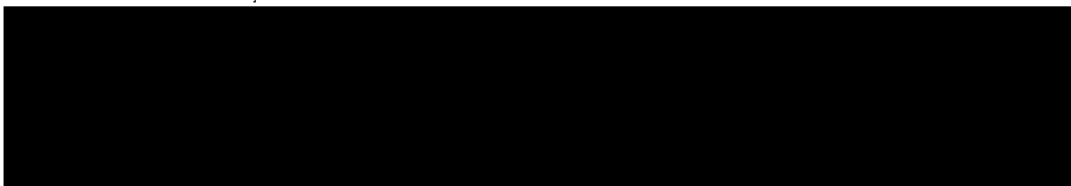
(本人)



(片岡氏)

そのうえで一言何か言うことあるんじゃないかと思って言ってるんだけど、ないですか。

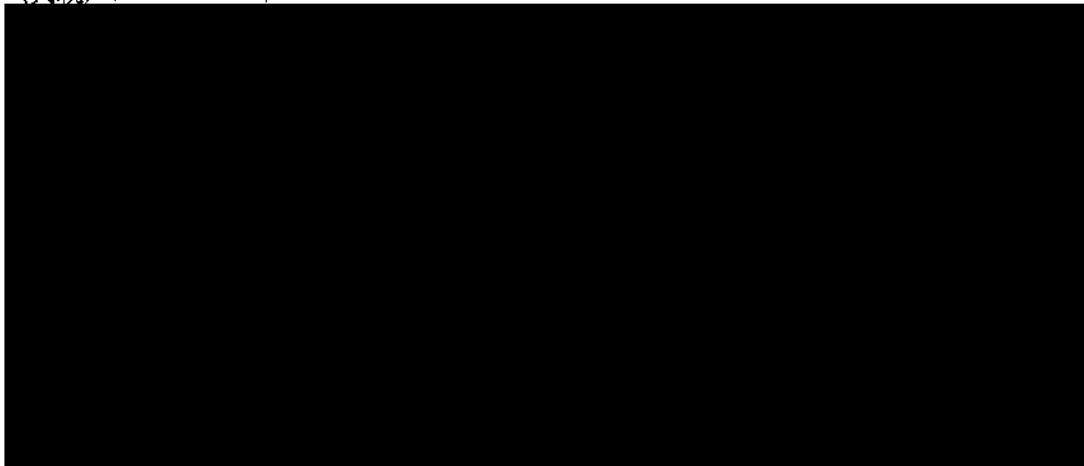
(本人)



(片岡氏)

じゃそういうことで二度とこういうこと無いようにしてください、部落問題についてもしっかり勉強してください、お父さんも話を聞いてて分かったと思いますが、絶対こういうことを二度と起こさないよう、家族でよく話をしてもらいたいと思います、何かお父さんありますか。

(父親)



(片岡氏)

はいじゃこれで終わりました。